評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する方針及び具体的な計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の周辺環境は、多様な要素で構成されており、その変化は文化財に大きな影響を与えるため、都市計画法、景観法及び本市の関連条例による規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。 また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業や文化財を活用するための便益施設を整備する場合には、文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

文化財の周辺環境の整備にあたっては、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る必要があることから、鶴岡公園とその周辺地区では、平成27年度に「三日町口通りのあるべきデザインを考えるワークショップ」を計5回開催し、市民延べ約189名の参加の下、通りと街並みの在り方について検討を実施した。ワークショップの中では、地域の歴史や環境の特徴を踏まえながら、通りのあるべき姿について活発な意見が出され、周辺の歴史的建造物と調和した街路整備に向けた検討を実施する機会となった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

第１回ワークショップ　（H27.7.18　市役所本庁舎大会議室　　参加者34名　）
第２回ワークショップ　（H27.7.26　鶴岡アートフォーラム会議室　参加者30名　）
第３回ワークショップ　（H27.8.5　旧鶴岡市コミュニティプラザ　参加者28名　）
第４回ワークショップ　（H27.8.8　旧鶴岡市コミュニティプラザ　参加者57名　）
※中心市街地まちづくりワークショップ「鶴岡まちづくりウィーク」と同日開催
第5回ワークショップ　（H27.10.14　鶴岡アートフォーラム会議室　参加者40名　）
計　189名

鶴岡公園とその周辺地区で行われた市民ワークショップ
（第3回H27.8.5　旧鶴岡市コミュニティプラザ）の様子

鶴岡公園とその周辺地区で行われた市民ワークショップ
（第5回H27.10.14　鶴岡アートフォーラム）の様子

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
文化財の防災等に関する方針及び具体的な計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財のうち建造物については、所有者及び管理者と連携して、消防法で義務化されている自動火災報知設備及び消火器具等の設置に努めるなど、火災被害の危険軽減を図る。さらに、広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努めるとともに、特に重点地域については、防災設備の見直しを図り、設備の適正化を進める。 また、指定文化財の耐震診断を推進し、文化財保存のための修理工事の際には、できるかぎり耐震補強工事も併せて実施するよう指導に努める。 なお、近年は文化財の盗難も多いことから、文化財を展示公開している施設については、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

文化財の防災等については、所有者及び管理者と連携して行っている。
重要文化財羽黒山正善院黄金堂の防災設備事業を行った。
また、毎年文化財防火デーには、それぞれの文化財で、防火訓練を行っている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○正善院黄金堂防災事業

正善院黄金堂（放水銃　施工前）

⇒

正善院黄金堂（放水銃　施行後）

○文化財防火デー防災訓練　　（平成28年1月26日）

旧西田川郡役所

松ヶ岡開墾場

大寶館

評価軸④-6
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発に関する方針及び具体的な計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、誰もが文化財に気軽に親しむことができる機会を積極的に創出する。 さらに、文化財に関連する情報発信の手段として市の広報やホームページなど様々な方法を活用し、文化財の重要性や継承の意義などを広く周知し、その内容の充実を図ることによって、本市の体系的な文化財情報の発信に努める。 また、重点区域においては、民間団体とも協力して、普及啓発のための事業を進める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

所有者及び管理者による文化財の公開をするとともに、文化財の啓蒙普及のための事業を行っている。
民間団体が県指定文化財（典籍）「大泉叢誌」の解読と活字化出版事業を継続して行っており、27年度に第三巻を出版したことにより、地域の歴史解明の一助となっている。
また、市のホームページに指定文化財一覧や市で出版している文化財関係書籍の頒布案内を掲載し、文化財普及啓発の一助とした。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

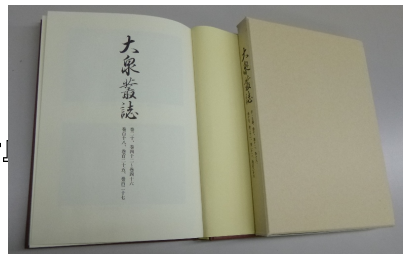
状況を示す写真や資料等

○史跡「旧致道館」の公開展示
・致道館の職制
・藩校生徒の教科書
・藩校の教学
等の展示

○文化財の展示
期　日　平成27年6月24日～11月23日
内　容　修験の山・羽黒山の歴史の文化財による展示

期　日　平成28年2月26日～3月30日
内　容　江戸時代の庄内藩の歴史の文化財による展示

○文化財関連書籍の頒布
『鶴岡の文化財』
『庄内藩の学校致道館』
『国指定史跡　庄内藩校致道館』
『鶴岡の民俗芸能』
『大泉叢誌』



評価軸④-7
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針及び具体的な計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	周知の埋蔵文化財包蔵地については、山形県と連携をとり、文化財保護法に基づきその現状の把握及び適切な保護措置に取り組む。 未発見の埋蔵文化財の保護にも万全を期すため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。また、公共事業の実施においては、埋蔵文化財について特段の配慮を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

開発行為の事前把握に努め、事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努めている。
また、調査報告書を発行するなど、埋蔵文化財の周知を行っている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○平成27年度　市内遺蹟分布調査
・試掘調査実施個所5ヵ所
「丸岡城跡」「旧鶴岡第四小学校跡」他
・現地踏査実施個所　2ヵ所
「荒沢須恵器窯跡」「出張坂城跡」
・立会調査実施個所　9ヵ所
「尾浦城跡」「出張坂城跡」
「藤島城跡」「砂川B遺跡近接地」他

「丸岡城跡」試掘調査状況

「旧鶴岡第四小学校跡地」試掘調査断面

○平成27年度「足元には文化財」展
期　日　平成27年10月23日（金）～11月15日（日）
展示物　鶴岡市内遺跡出土遺物　（砂川遺跡・野新田遺跡他）
舟形町西ノ前遺跡出土国宝「縄文の女神（レプリカ）」土偶

○体験講座
期　日　平成27年11月15日（日）
内　容　①遺跡と土器にまつわる話
②本物の土器にさわってみよう
③縄文食体験「縄文クッキーづくり」
参加者　親子9組21名

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-8
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
文化財の保存・活用に関する教育委員会の体制と今後の方針	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	
	鶴岡市文化財保護審議会は、条例に規定する文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じて調査研究を行うなどし意見具申を行うものであり、建造物1名、工芸品1名、歴史資料1名、民俗文化財3名、考古資料1名、天然記念物2名、地域史5名の委員数14名で構成されている。 また、文化財の適切な保存と活用を推進するため、市教育委員会社会教育課に文化財係を設けて、所属長の下に、文化財係員6名を配置している。地域に特色のある文化財については、地域庁舎総務企画課に担当者を配置し、その保存と活用の施策を検討する体制をとっている。 今後も、文化財担当課だけでなく、都市計画課・政策推進課・観光物産課・地域振興課・商工課等の担当部署と連携をとりながら、文化財行政の推進に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

鶴岡市文化財保護審議会を年二回開催し、意見具申をいただきながら、文化財の保存・活用を適切に行っている。また、文化財調査にあたっては、専門の審議委員に指導協力を依頼しながら行っている。
文化財担当課だけでなく、地域庁舎総務企画課等の関連部署と協力して文化財行政を推進している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財保護審議会開催

第一回
　期　日　平成27年8月20日
　内　容　文化財管理保存事業について
　　歴史的建造物保存事業について
　　金峯山保存活用計画について

第二回
　期　日　平成28年3月15日
　内　容　丸岡城跡史跡公園について
　　文化財管理保存事業について
　　歴史的建造物保存事業について
　　金峯山保存活用計画について

文化財保護審議会

○社会教育課主幹会議（地域庁舎総務企画課との協議）

第一回
　期　日　平成27年4月8日
　内　容　業務確認、業務分担

第二回
　期　日　平成27年10月15日
　内　容　予算関係等

○社会教育課担当主査・係長会議（地域庁舎総務企画課との協議）
　期　日　必要に応じて随時開催
　内　容　庁内調整事項等

評価軸④-9
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況
市民・NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。
文化財施設の管理運営をしている公益財団法人等と協力して、文化財の適切な保存活用を行った。
市のホームページに文化財関係支援一覧を掲載し、各種団体と協力して、補助金を活用した事業を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○鶴岡市文化財愛護協会による文化財講演会の開催
期　日　平成27年5月14日
内　容　「庄内のモリ供養」
記録作成等の「措置を講ずべき無形の民俗文化財」
である「庄内のモリ供養の習俗」についての講演

講演風景

○無形民俗文化財の継承地調査の実施
期　日　平成27年8月21日
内　容　「庄内のモリ供養」の保存継承団体と
教育委員会の合同の実施個所調査

見学会風景

○地域にある愛護団体の活動
期　日　平成27年10月18日
内　容　地域文化財愛護団体による文化財説明看板の設置及び
見学説明会の開催
重要文化財
「水上八幡神社本殿」

愛護団体が設置した説明看板

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	平成27年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史漂う空間浮かび上がる　桜並木をライトアップ　松ヶ岡	H27.4.15	荘内日報
きれいな編み笠で天神祭を　市役所屋上で恒例の天日干し	H27.5.2	荘内日報
清掃ボランティアを募集　鶴岡ホテルの公開に向け	H27.5.8	コミュニティしんぶん
御田植神事と舞　五穀豊穣を祈願　出羽三山神社祈念祭	H27.5.9	荘内日報
歴史や言い伝え学ぶ　鶴岡「天神祭」前に朝二小で出前講座	H27.5.17	荘内日報
地域に息づく学風　論語を大きな声で　少年少女古典素読教室開講式	H27.5.17	荘内日報
閉館の名ホテル歴史学んで探索　歴まちmeeting	H27.5.24	山形新聞
天神祭パレードにぎわう　化けもの繰り出し飲み物振る舞い	H27.5.27	荘内日報
暗闇に浮かび上がる国宝の姿　羽黒山五重塔　幻想的にライトアップ	H27.6.16	荘内日報
生け花と布小物を展示　菅家　涼感あふれ女性客で賑わう	H27.7.7	荘内日報
梵天の花奪い合い　出羽三山神社　花祭り　五穀豊穣など祈願	H27.7.17	荘内日報
旧鶴岡警察署庁舎　創建時の外壁は水色だった 保存修理・移築工事で明らかに　致道博物館	H27.8.18	荘内日報
壮大な時代絵巻観客魅了　城下町　鶴岡　「荘内大祭」　にぎわう	H27.8.16	荘内日報
シルクガールズ×鶴岡シルク　鶴岡の絹文化紹介	H27.8.25	山形新聞
「擬死再生」荒行に挑む　出羽三山神社　「秋の峰」始まる	H27.8.28	荘内日報
国重文「旧鶴岡署」の修理費1億円増　募金支援へ「協賛会」鶴岡で発会式	H27.8.29	山形新聞
肌で感じる地元の歴史　市民ら鶴岡まちなか歩き楽しむ	H27.9.29	荘内日報
絹の変化に興味津々　鶴岡中央高シルクガールズプロジェクト 企業見学　理解深める	H27.10.7	荘内日報
原敬も愛したホテル「見事」　鶴岡で「歴まちミーティング」	H27.11.5	朝日新聞
「鶴岡シルク」で地域活性化推進　資源活用　まちづくりシンポで意見交わす	H27.11.20	荘内日報
城下町にほら貝の音師走告げる　鶴岡「松の勧進」始まる	H27.12.2	荘内日報
ふっくら仕上がり香ばしい匂い漂う「大黒様の御歳夜」 鮮魚店でハタハタ焼き大忙し	H27.12.10	荘内日報
文化遺産生かし地域活性化へ　鶴岡で歴史まちづくりシンポジウム	H27.12.15	荘内日報
だるま市　七転び八起き願う　鶴岡	H27.12.18	朝日新聞
燃え盛る大松明に幸祈る　鶴岡　羽黒山で松例祭	H28.1.1	山形新聞
日本遺産本県2件申請　第2弾公募　出羽三山と城下町鶴岡	H28.2.13	山形新聞
鶴岡市「松ヶ岡開墾場」買い取りへ　日本遺産認定目指す	H28.2.24	読売新聞
門前町の景観づくりを学ぶ　14日 第2回出羽三山魅力発信協議会開催	H28.3.9	荘内日報

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

本市の歴史的風致や、市主催シンポジウムの開催について広く報道されている。歴史的建造物の公開・利活用に関する記事や、歴史的建造物の修理に関する記事も見られ、これらを通して市民の間で歴史まちづくりが進展していることに関して関心が喚起されていると考えられる。また、日本遺産認定申請に関する記事も見られた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

○歴史的建造物公開及び利活用に関する記事
① H27.5.24　閉館の名ホテル歴史学んで探索　歴まちmeeting　（山形新聞）
② H27.7.7　生け花と布小物を展示　菅家　涼感あふれ女性客で賑わう　（荘内日報）
③ H27.9.29　肌で感じる地元の歴史　市民ら鶴岡まちなか歩き楽しむ　（荘内日報）
④ H27.11.5　原敬も愛したホテル「見事」　鶴岡で「歴まちミーティング」（朝日新聞）
⑤ H27.12.15　文化遺産生かし地域活性化へ　鶴岡で歴史まちづくりシンポジウム（荘内日報））

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	平成27年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

【鶴岡公園とその周辺地域】
歴史まちづくりに関するワークショップの参加者が中心となって設立された市民団体「歴まちmeeting」が、平成27年度から歴史的建造物の公開及び修理に関するイベントを実施しており、市民自らの手で歴史的建造物を守ろう、という機運が醸成され始めている。
また、鶴岡商工会議所主催でまち歩きイベント「城下町南西回りの歴史を訪ねて」が9月27日（日）に開催され、老若男女52人が参加する等、まちの文化と歴史を見直す取り組みが進められている。

【羽黒手向地区】
手向宿坊街で計2回実施された「まち歩きツアー」には延べ約50名の参加者があった。参加者を対象にしたアンケート調査では、歴史情緒を感じることができ、良い印象を受けたという結果が得られ、手向地区の歴史的風致を広げる取組として効果があった。

【羽黒松ヶ岡地区】
松ヶ岡の中核的施設である「本陣」について一般開放が始まるにあたり、7名のボランティアを「留守居役」として任命し、一般観覧者も4月13日～11月14日の間に1,937名に及ぶなど歴史的建造物の公開の取組が進められた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】
平成27年10月18日
旧鶴岡ホテル外壁塗装作業

【鶴岡公園とその周辺地区】
平成27年11月3日
旧鶴岡ホテル館内見学イベント

【羽黒松ヶ岡地区】
「本陣留守居役」募集のチラ

【羽黒手向地区】「まち歩きツアー」の様子

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度	平成27年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載している内容

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と計画内容説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

H27.6.11　山形県立鶴岡南高等学校　１学年社会人講話
対象者：鶴岡南高校1年生希望者　33名

H27.10.1　栃木県矢板市区長会視察
対象者：矢板市区長会　20名　矢板市役所職員　2名

H27.10.8　鶴岡市第三学区福寿大学
対象者：第3学区住民　48名

H27.10.14　富山県魚津市議会視察
対象者：魚津市議　9名

H27.10.22　福岡県小郡市議会視察
対象者：小郡市議　7名

H27.10.28　山梨県富士吉田市議会視察
対象者：富士吉田市議　4名

H28.2.2　山形県立鶴岡北高等学校　２学年進路講話
対象者：鶴岡北高等学校2年生　160名

10月8日：第三学区福寿大学での説明。

法定協議会等におけるコメント

（様式4）

評価対象年度	平成27年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：鶴岡市鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時：平成28年3月22日(火)14:00～

【会議結果】
・計画の変更、評価報告承認
・風致形成建造物6件の指定について承認

【主なコメント】
・風致形成建造物指定にあたり、旧ヱビスヤビルの調査結果に内容の誤りがあるので修正してほしい。
・市民、特に高校生などに風致形成建造物であることが認識できるよう表示をしてほしい。
・手向の街並み修景事業に対し、宿坊以外の住民からも理解、協力が得られるよう周知してほしい。

第4回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会（H28.3.22　鶴岡市第三コミュニティセンター）

（今後の対応方針）
・風致形成建造物旧ヱビスヤビルの調査結果については内容を精査して修正する。
・風致形成建造物であることが認識できるよう表示を行い周知する。
・手向の街並み修景事業についてワークショップなどを重ね住民理解と周知を図る。